

## 新たな政策形成に向けた取り組み

県土整備部では、「岩手県住宅・土木基本計画」に基づく政策課題に的確に対応し、時代にあったそして次世代に引き継ぐ社会資本の整備と活用を進めるため、部内横断的に、様々な政策課題に取り組むワーキンググループを設置しています。

### 平成 18 年度のテーマ

#### 自然環境との共生（政策課題研究会）

岩手県地球温暖化対策地域推進計画（CO<sub>2</sub> 8%削減）が策定され、地球温暖化対策の取組みが重要課題となっていることから、生態系への配慮やCO<sub>2</sub> 削減に向けた取組みなど、「持続可能な県土づくり」や「自然共生型の公共事業」について研究する。

- ・環境首都いわてにおける「道路」・「河川」・「都市」施策、それぞれの今後の方向性と実施プランを提案する。

#### 社会資本整備と産業振興（政策課題研究会）

社会資本整備の目的の一つである産業支援の役割について、これまでの成果を客観的に検証するとともに、今後の産業支援のための社会資本整備のあり方について、地域経済活性化、物流促進、観光振興等の様々な効果を「産業振興」という大枠で捉え研究する。

#### コミュニケーション戦略会議ワーキンググループ

県民満足度の向上、県民の声が反映される社会資本の提供と活用、県民の意思や地域の主体性を尊重する地域づくりを進めるため、県民と行政によるよりよいコミュニケーションの環境づくりを行う。

- ・ 県民・NPO・市町村等とのパートナーシップの構築
- ・ 県土づくりニュースの発行
- ・ ファシリテーションスキルの向上
- ・ 団塊世代の大量退職に対応した技術力の伝承

#### 災害改善対応カイゼンチーム

大雨や地震などの自然災害が発生又は予想される事態に対して、災害対応マニュアルの整備や図上訓練、情報共有のためのデータベースの構築等、実践を想定した取組みにより、職員の誰もが的確かつ迅速に対応できる環境づくりを進める。

- ・ データベース構築・導入による災害対応時の効率アップ及びデータストック
- ・ 災害対応訓練・研修等実施による災害対応業務の効率化
- ・ その他、問題解決へ向けた対応策の具体化